

# 資料集



## 数字でみる、地域福祉コーディネーター活動と地域福祉活動

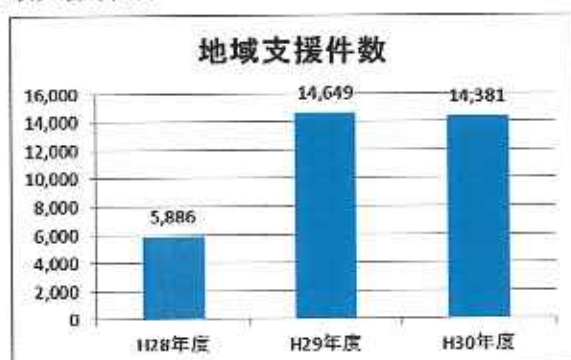
東部圏域課 いがまち地域センター 地域福祉コーディネーター 野田 守

## ◆地域福祉部圏域課 活動統計報告 (H28年度～H30年度)

| ◆支援内容             | H28年度 | H29年度  | H30年度  |
|-------------------|-------|--------|--------|
| 1.地域支援件数          | 5,886 | 14,649 | 14,381 |
| 2.個別支援件数          |       |        | 2,262  |
| 種別                | □介護高齢 |        | 983    |
|                   | □障がい  |        | 304    |
|                   | □子育て  |        | 17     |
|                   | □経済困窮 |        | 204    |
|                   | □その他  |        | 687    |
| 3.ボランティア対応件数      |       |        | 946    |
| 4.相談対応件数 (1～3のうち) | 4,229 | 6,223  | 4,005  |
| 5.アウトリーチ件数 (手段)   | 4,593 | 6,668  | 5,874  |

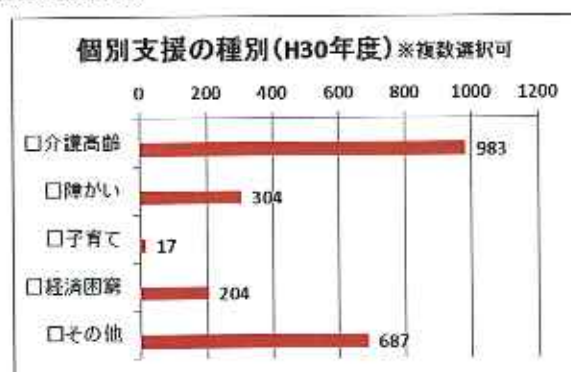
- ・上の表は、年度別の地域福祉コーディネーターが行った支援内容の総数である。
- ・H30年度から業務日報の記入の手引きを作成し、業務日報のつけ方を統一した。これまではコーディネーターによって業務日報のつけ方にばらつきが出ていたが、手引きを作成したことにより項目が明確化され、活動統計報告の精度も上がった。

## 1. 地域支援件数



・H28年度からH29年度にかけて約8800件大きく上昇している。これは母数(記録をつけたコーディネーター・地域係)の増加(H28年度は12名、H29年度は17名)と、詳細に活動記録をつけたためと考えられる。また、H30年度に地域支援件数が減少しているのは、業務日報の項目の整理によるものであると考えられる。

## 2. 個別支援件数



・H30年度には新たに「個別支援」の項目が追加され、種別ごとに「介護高齢、障がい、子育て、経済困窮、その他」(複数選択可能)集計を行った。最も件数が多かったのは「介護高齢」の983件であり、介護保険の相談や高齢者福祉制度に関するものが多数を占めた。次に多かったものが「その他」の687件であり、近隣トラブルやごみ屋敷問題、仕事上の悩み、ひきこもりなど、多様な相談が持ち込まれている状況である。

## 3. ボランティア対応件数

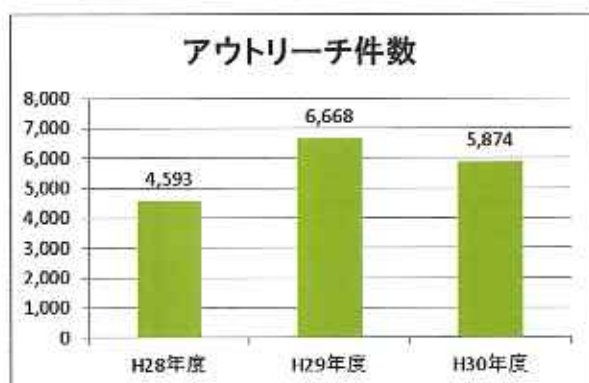
ボランティア対応件数もH30年度に新たに追加された項目であり、H30年度は946件であった。

## 4.相談対応件数



・H28年度からH29年度にかけては約2000件増加。これは母数（記録をつけたコーディネーター）の増加（H28年度は12名、H29年度は17名）と、詳細に活動記録をつけたためである。H29年度からH30年度にかけては大幅に減少し、4005件となっている。これはH30年度に「業務日報の手引き」を作成し、つけ方の見直しを行ったためと考えられる。

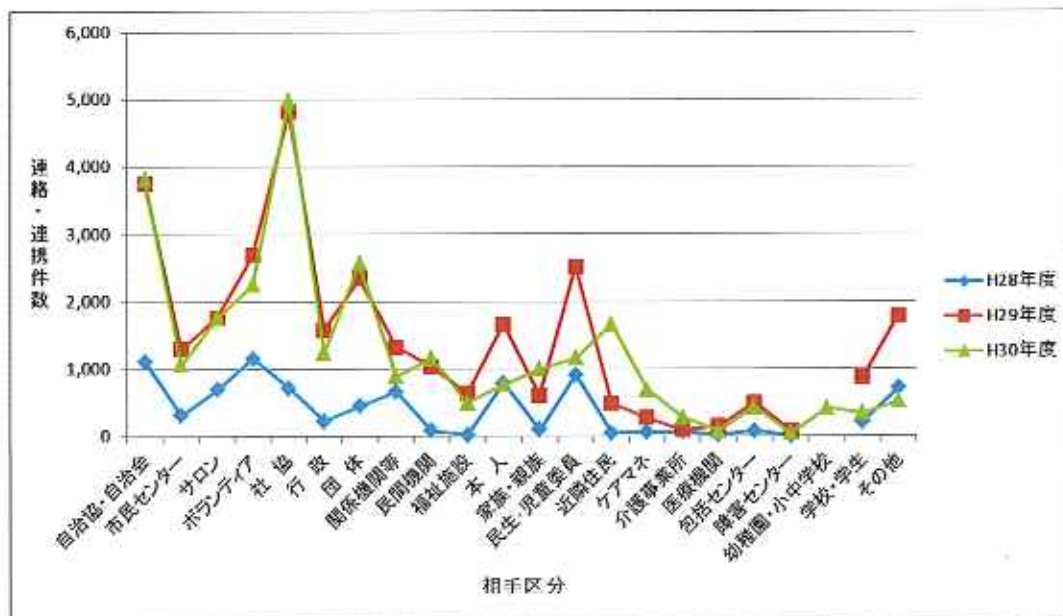
## 5.アウトリーチ件数



・アウトリーチ件数は、H28年度からH29年度にかけては約2000件増加。これは母数（記録をつけたコーディネーター）の増加（H28年度は12名、H29年度は17名）と、詳細に活動記録をつけたためである。H29年度からH30年度にかけては約800件ほど減少している。これはH30年度に「業務日報の手引き」を作成し、つけ方の見直しを行ったためと考えられる。

## 6.連絡・連携件数（相手区分）

| ◆相手区分        |          | H28年度 | H29年度  | H30年度  |
|--------------|----------|-------|--------|--------|
| 6<br>連絡・連携件数 | 自治協・自治会  | 1,113 | 3,754  | 3,823  |
|              | 市民センター   | 313   | 1,296  | 1,063  |
|              | サロン      | 698   | 1,764  | 1,759  |
|              | ボランティア   | 1,153 | 2,685  | 2,249  |
|              | 社 協      | 716   | 4,818  | 4,984  |
|              | 行 政      | 224   | 1,582  | 1,242  |
|              | 団 体      | 447   | 2,349  | 2,567  |
|              | 関係機関等    | 663   | 1,328  | 887    |
|              | 民間機関     | 80    | 1,038  | 1,161  |
|              | 福祉施設     | 16    | 642    | 494    |
|              | 本 人      | 787   | 1,654  | 762    |
|              | 家族・親族    | 92    | 604    | 994    |
|              | 民生・児童委員  | 908   | 2,514  | 1,160  |
|              | 近隣住民     | 45    | 484    | 1,657  |
|              | ケアマネ     | 50    | 271    | 690    |
|              | 介護事業所    | 64    | 95     | 276    |
|              | 医療機関     | 22    | 147    | 72     |
|              | 包括センター   | 75    | 499    | 430    |
|              | 障害センター   | 8     | 80     | 37     |
|              | 幼稚園・小中学校 |       |        | 415    |
| 学校・学生        | 213      | 875   | 338    |        |
| その他          | 710      | 1,781 | 520    |        |
|              | 合計       | 8,397 | 30,260 | 27,580 |



・表とグラフは、地域福祉コーディネーターが行った支援の相手先の統計である。

・H28年度からH29年度にかけて件数が急増しているのは、業務日報の項目の整理に伴い、より細分に業務日報をつけることとなったため、件数が増加したと考えられる。またH30年度に「業務日報の手引き」を作成し、つけ方の見直しを行ったため、いくつかの項目でその影響と思われる増減が見られる。

・「幼稚園・小中学校」の項目はH30年度から追加された。

#### ◆相手区分に対する件数の傾向

|          |  |
|----------|--|
| ①自治協・自治会 | 「地域福祉ネットワーク会議」の立ち上げ支援や運営支援、地域の課題解決に向けた取り組みでは、「自治協・自治会」と密接な連絡・連携を行っているため、件数が高くなっていると考えられる。H28年度からH29年度にかけて約2600件大きく上昇しており、H29年度からH30年度にかけては約70件増加しており、年々増加している。 |
| ②市民センター  | H28年度からH29年度にかけて約1000件大きく上昇。<br>H29年度からH30年度にかけては約230件減少。  |
| ③サロン     | H28年度からH29年度にかけて約1070件大きく上昇。<br>H29年度からH30年度にかけては大きな変化はなし。   |
| ④ボランティア  | H28年度からH29年度にかけて約1500件大きく上昇。<br>H29年度からH30年度にかけては約440件減少。  |
| ⑤社協      | H28年度からH29年度にかけて約4100件大きく上昇し、H29年度からH30年度にかけては約220件増加しており、H30年度まで年々上昇している。<br>※地域支援に関する社協内部会議も含まれるため、連絡・連携先としては最も多い項目となっている。                                   |
| ⑥行政      | H28年度からH29年度にかけて約1360件大きく上昇。<br>H29年度からH30年度にかけては340件減少。   |
| ⑦団体      | H28年度からH29年度にかけて約1900件大きく上昇。<br>H29年度からH30年度にかけては約220件増加しており、年々増加している。   |
| ⑧関係機関    | H28年度からH29年度にかけて約670件大きく上昇。<br>H29年度からH30年度にかけては約440件減少。<br>※H30年度に相手区分が増加し、他の区分に振り分けができるようになったためと思われる。  |
| ⑨民間機関    | H28年度からH29年度にかけて約960件大きく上昇。<br>H29年度からH30年度にかけては約120件増加しており、年々増加している。<br>※企業（農家等含む）との連携は、年々増加している状況である。  |
| ⑩福祉施設    | H28年度からH29年度にかけて約630件大きく上昇。  |

|                      |  |
|----------------------|--|
|                      | H29年度からH30年度にかけては約150件減少。  |
| ①本人                  | H28年度からH29年度にかけて約870件大きく上昇。<br>H29年度からH30年度にかけては約890件大きく減少。  |
| ②家族・親族               | H28年度からH29年度にかけて約510件大きく上昇。<br>H29年度からH30年度にかけては約400件大きく上昇し、年々増加している。  |
| ③民生・児童委員             | H28年度からH29年度にかけて約1600件大きく上昇。<br>H29年度からH30年度にかけては約1350件大きく減少。  |
| ④近隣住民                | H28年度からH29年度にかけて約440件大きく上昇。<br>H29年度からH30年度にかけては約1170件大きく上昇しており、年々急増している。<br>※まちづくりや地域活動、高齢者や障害者の生活課題、引きこもり、子どもの問題、ごみ屋敷など生活環境、近隣トラブルまで、あらゆる相談が寄せられている傾向にある。  |
| ⑤ケアマネ                | H28年度からH29年度にかけて約220件増加。<br>H29年度からH30年度にかけては約420件大きく増加しており、年々急増している。<br>※地域福祉コーディネーターの周知が進み、ケアマネージャーが担当している個別の困難ケースや、介護予防の連携支援が増加している。  |
| ⑥介護事業所               | H28年度からH29年度にかけて約30件増加。<br>H29年度からH30年度にかけては約180件増加しており、年々急増している。<br>※地域福祉コーディネーターの周知が進み、介護保険事業所との個別困難ケースの連携支援や、福祉出前講座の同行訪問、介護予防の連携支援が増加している。  |
| ⑦医療機関                | H28年度からH29年度にかけて125件大きく上昇。<br>H29年度からH30年度にかけては75件減少。  |
| ⑧包括センター              | H28年度からH29年度にかけて約430件急増。<br>H29年度からH30年度にかけては約70件減少。   |
| ⑨障害センター              | H28年度からH29年度にかけて約70件増加。<br>H29年度からH30年度にかけては約40件減少。  |
| ⑩幼稚園・小中学校、<br>⑪学校・学生 | 「幼稚園・小中学校」の項目は、H30年度から追加されたものである。「学校・学生」との区別としては、学校に対して福祉教育プログラムの紹介などを行った際には「幼稚園・小中学校」の項目、実習生や高校生との見守り活動などは「学校・学生」の項目として集計をしている。<br>H30年度については「幼稚園・小中学校」と「学校・学生」の合計として考えると、753件となる。各年度との比較をすると、H28年度からH29年度にかけて約660件増加。H29年度からH30年度にかけては約120件減少。ただし、H30年度に関しては、全体の件数としては減少しているが、これは業務日報の手引き作成に伴い記録のつけ方を厳しくしたためであり、アプローチ数自体は減っていない。 |
| ⑫その他                 | H30年度から業務日報の記入の手引き作成により項目が明確化され、各項目への振り分けができるようになったため、H30年度は520件と大幅に減少した。  |

平成31年3月4日

## 参考資料

## 業務日報 記入の手引き

圏域課

・地域福祉コーディネーターと地域担当の業務を、見えるかたちにする。市民や行政に事業内容や実態の理解促進を図り、地域福祉を推進するための事業への必要性を明確にする。

・空欄にはせず、どこかに区分する。

## ① 所管

|                |  |
|----------------|--|
| 地域支援           | ※地域支援件数として使用<br>NW 会議、自治協、自治会長、区長、民協、民生委員児童委員<br>団体、学校、共同募金事業の企画・実施、助成、サロン<br>地域福祉推進委員会、地域福祉活動計画、地域での福祉に関する会議<br>地域アンケート、社協会費事業の企画・実施<br>地域組織からのボランティアの調整（3B 体操等）<br>認知症・介護予防教室の対応<br>地域行事への個人からの受付、団体への備品貸出<br>見守り訪問（付き添いを主としたもの 例…白鳳高校の友愛訪問） |
| 個別支援           | 個別事案の対応、個別事案の連絡調整<br>いが見守り支援事業の利用者関連<br>見守り訪問（個別訪問を主としたもの 例…寺田、八幡、下郡）<br>個人への備品貸出（車椅子等）  |
| VC（ボランティアセンター） | ボランティア、ボランティアセンター事業、ちよいサボ<br>いが見守り支援員、いが見守り支援員基礎講座<br>災害ボランティアコーディネーター   |
| 福祉サービス         | ヘルパー、デイサービス、ショートステイ、入所施設等  |
| 法人運営           | 社協内部の会議（圏域課会議、3圏域課会議、課内打ち合わせ）<br>社協基盤強化PJ会議、地域福祉・介護サービス部門連携会議<br>社協会費、施設維持管理、貸館、地域センター会計、各種研修<br>PDCA、社協広報、社協行事の受付、実習生、勤怠  |
| 事務             |  |
| 団体支援           | 行事参加の受付<br>※団体（老人クラブ、身障連盟、遺族会、介護者の会等）  |
| 委託事業           | やすらぎ支援事業   |
| 共同募金           | 準備、説明・会議   |
| その他            |  |

・業務日報の記入は入れない

・食事サービス…利用者関連の業務は「地域」、運営関連の業務は「VC」

## ○個別支援種別

|      |              |
|------|--------------|
| 介護高齢 | 認知症          |
| 障がい  |              |
| 子育て  |              |
| 困窮   | 生活困窮者支援、生活保護 |
| その他  |              |

・複数選択が可能

## ② 地域名

|     |                    |
|-----|--------------------|
| その他 | 「地域」になじまないもの（実習生等） |
|-----|--------------------|

- ・民協の地域で、複数の自治協の地区を含む場合は、相手の地区や会議の場所等で区分する  
(上野北部、城西等)

## ③ 場所

- ・「社協事務所」には福祉センターの他の部屋も含める
- ・車内などでの対応は「その他」に区分する

## ④ 業務

|         |   |
|---------|---|
| 事務      | 資料作成(相談記録等、報告資料、地域アセスメント)<br>入出金、郵送、書類受付、金銭受取、支払い、店で物品購入<br>社協の他の部署への連絡 |
| 相談      | ※相談件数として使用<br>個別相談、地域相談、助言・情報提供、地域での事業企画の相談<br>職員間の調整・相談                |
| 会議      | 社協内部の会議・打合せ<br>外部の会議(民協定例会、NW 会議、自治協の会議等)                               |
| 訪問      | 個別訪問、地域組織(市民センター等)への訪問<br>訪問の不在   |
| 研修      |   |
| 講演      | サロン等での講演、ワークショップ  |
| 連絡調整    | 日程調整、内容確認、会議等の参加確認  |
| 貸館・レク用品 | 車椅子の貸出も含む   |
| 配達      | 資材等   |
| 印刷      |   |
| その他     |   |

- ・電話の留守は入れない ・留守電に入れた場合はカウントする
- ・電話や来所の取次と不在メモ作成は入れない
- ・社協会費の管理事務等で、まとめて行った事務は、地域ごとでなくまとめて記入する

## ⑤ 内容(特記なし)

## ⑥ 手段

|         |                                  |
|---------|----------------------------------|
| 来所      |                                  |
| 訪問      | ※アウトリーチ件数として使用<br>個別、地域への訪問、外部会議 |
| 電話      |                                  |
| 会議      | 社協内部の会議・打合せ                      |
| メール・FAX |                                  |
| 事務      | 資料作成、入出金、郵送                      |
| その他     | 研修、同じ事務所内の人とのやり取り                |

## ⑦ 相手区分 ※連絡・連携件数として使用

|                       |  |
|-----------------------|--|
| 自治協・自治会               |  |
| 市民センター                |  |
| サロン                   |  |
| ボランティア（コミュニティサービスを含む） | 個人、グループ<br>ゆうあい（上野配食）、やすらぎ支援員、いが見守り支援員 |
| 社協                    | 生活支援員（日常生活自立支援事業）                      |
| 包括 調整係                |  |
| 包括 相談支援               |  |
| 障がい者支援センター            |  |
| こども未来課                |  |
| 生活支援課                 |  |
| 介護高齢福祉課               |  |
| 医療福祉政策課               |  |
| 地域づくり推進課              |  |
| 健康推進課                 |  |
| 支所振興課                 |  |
| 支所住民福祉課               |  |
| その他行政                 |  |
| 団体                    | 老人クラブ、身障連盟、遺族会、介護者の会                   |
| 関係機関等                 | 相手が多数の時（NW 会議等）                        |
| 民間機関                  | JA、生協、企業、シルバー人材センター、金融機関               |
| 福祉施設 入所<br>（社会福祉法人）   | 入所施設                                   |
| 福祉施設 入所以外<br>（社会福祉法人） | 入所施設以外の事業所（ヘルパ、デイサービス等）<br>社協事業所も含む    |
| 福祉施設<br>（NPO 法人ほか）    | 介護事業所も含む<br>あわてんぼう、伝丸、助け合い桐ヶ丘、いがの友 等   |
| 本人                    |  |
| 家族・親族                 |  |
| 民生・児童委員               |  |
| 地域住民                  |  |
| ケアマネ                  | 社協ケアマネも含む                              |
| 医療機関                  |  |
| 幼稚園・小中高等学校            | 保育所も含む                                 |
| 大学・学生                 |  |
| その他                   |  |

・実際の相手を記入する（視察の調整等は、交渉相手を記入する）

## ⑧ 部会（地域福祉活動計画）

|                  |   |
|------------------|---|
| 地域福祉<br>ネットワーク会議 | 1部会 （仮称）地域福祉ネットワーク会議連絡会<br>地域福祉ネットワーク会議<br>地域福祉ネットワーク会議連絡会・交流会                      |
| 支え合い             | 2-1部会 支え合いのコミュニティサイクル推進部会<br>お互いさまの意識づくり 介護予防<br>ワークショップ全般（助け合い体験カード、マップ作り、クロスロード等） |
| 地域生活支援<br>サービス   | 2-2部会 住民参加型地域生活支援サービス推進部会<br>生活支援サービス   |
| 福祉教育             | 3部会 福祉教育推進部会<br>福祉教育、市民ふくし大学講座、いが見守り支援員   |



|                |  |
|----------------|--|
| コミュニティ<br>ビジネス | 4部会 コミュニティビジネス推進部会   |
| 地域活動推進部会       | 5-1部会 地域貢献活動推進部会<br>社会福祉法人連絡会、NPO等                                   |
| 地域福祉財源         | 5-2部会 地域福祉財源検討部会<br>社協会費制度、共同募金、地域財源、寄付、ファンドレイジング<br>共同募金等の受け取りは含まない |

・部会活動だけでなく、地域福祉活動計画に関連する場合も記入する

## 数字でみる地域福祉コーディネーターの活動と地域福祉活動

### 指標

| 指 標              |                                      | H28 年度               | H29 年度               | H30 年度                    |
|------------------|--------------------------------------|----------------------|----------------------|---------------------------|
| 地域福祉<br>コーディネーター | 地域福祉コーディネーター配置人数                     | 12 人                 | 12 人                 | 13 人                      |
|                  | 地域にアウトリーチした（出向いた）数                   | 4,593 回              | 6,668 回              | 5,874 回                   |
|                  | 地域福祉ネットワーク会議の設置団体数                   | 24 地区                | 30 地区                | 36 地区                     |
|                  | 地域調査（アンケート）実施地区                      | 4 地区+<br>独自 2 地区     | 3 地区                 | 3 地区                      |
|                  | 個人の相談件数                              |                      |                      | 2,262 件                   |
|                  | 多職種との連携回数                            |                      |                      | 27,580 件                  |
|                  | 地域活動紹介 DVD の作成地域数                    | 3 地区<br>白樫・丸柱・<br>矢持 | 2 地区<br>朝日ヶ丘・<br>桐ヶ丘 | 2 地区<br>いこいこ・<br>鳥ヶ原      |
| 福祉教育             | 福祉教育プログラムを協同実践した回数（地域）               |                      |                      | 35 回                      |
|                  | 福祉教育プログラムを協同実践した回数（学校）               |                      | 8 回                  | 26 回                      |
|                  | 開発・習得したワークショップ・福祉教育プログラム数            |                      |                      | 57 個                      |
| 居場所づ<br>くり       | ふれあい・いきいきサロン実施団体数                    | 279 団体               | 271 団体               | 253 団体                    |
|                  | ふれあい・いきいきサロン延べ実施回数                   | 3,570 回              | 3,527 回              | 3,509 回                   |
|                  | ふれあい・いきいきサロンのうちコミュニティカフェ型サロンの開催箇所数   | 4 か所                 | 7 か所                 | 10 か所                     |
|                  | 介護予防サロン活動支援事業実施数                     | 13 団体                | 11 団体                | 10 団体                     |
|                  | 見守りや声かけ活動の実施地域数                      | 19 か所                | 19 か所                | 25 か所                     |
| 見守り支<br>援        | いが見守り支援員認定者数                         | 909 人                | 950 人                | 996 人                     |
|                  | ご近所見守り隊養成講座開催支援団体数                   | 2 地区                 | 4 地区                 | 0 地区<br>(1 地区)<br>※地区独自開催 |
| 生活支援             | 住民参加型地域生活支援サービス<br>(住民の助け合い活動) 実施団体数 | 17 団体                | 18 団体                | 19 団体                     |

◆地域福祉コーディネーター 担当エリア一覧(2016～2018)

| 地域<br>包括<br>圏域<br>(3) | 地区民協<br>(14) | 福祉区<br>【自治協】<br>(38) | 2016(H28)年度      |               | 2017(H29)年度      |               | 2018(H30)年度      |               |
|-----------------------|--------------|----------------------|------------------|---------------|------------------|---------------|------------------|---------------|
|                       |              |                      | 地域福祉コーディネーター(12) |               | 地域福祉コーディネーター(12) |               | 地域福祉コーディネーター(13) |               |
|                       |              |                      | 統括地域福祉<br>CD(3)  | 地域福祉CD<br>(9) | 統括地域福祉<br>CD(3)  | 地域福祉CD<br>(9) | 統括地域福祉<br>CD(3)  | 地域福祉CD<br>(9) |
| 中部                    | 上野東部         | 上野東部                 | 村木一晴             | 中西正敏          | 生間慎二郎            | 中西正敏          | 生間慎二郎            | 中西正敏          |
|                       | 上野南部         | 上野南部                 |                  |               |                  |               |                  |               |
|                       | しらさぎ         | 友生                   |                  |               |                  |               |                  |               |
|                       |              | ゆめが丘                 |                  |               |                  |               |                  |               |
|                       | 上野北部         | 中瀬                   |                  |               |                  |               |                  |               |
|                       |              | 三田                   |                  |               |                  |               |                  |               |
|                       | 上野西部         | 諏訪                   |                  |               |                  |               |                  |               |
|                       |              | 府中                   |                  |               |                  |               |                  |               |
|                       | 久米           | 上野西部                 |                  |               |                  |               |                  |               |
|                       |              | 久米<br>(八幡町)          |                  |               |                  |               |                  |               |
| 城西                    | 小田           |                      |                  |               |                  |               |                  |               |
|                       | 長田           |                      |                  |               |                  |               |                  |               |
| 成和                    | 新居           |                      |                  |               |                  |               |                  |               |
|                       | 花之木          |                      |                  |               |                  |               |                  |               |
|                       | 猪田           |                      |                  |               |                  |               |                  |               |
| 丸山                    | 古山           |                      |                  |               |                  |               |                  |               |
|                       | 花垣           |                      |                  |               |                  |               |                  |               |
|                       | 依那古          |                      |                  |               |                  |               |                  |               |
| 鳥ヶ原                   | 比自岐          |                      |                  |               |                  |               |                  |               |
|                       | 神戸           |                      |                  |               |                  |               |                  |               |
| 大山田                   | きしが台         |                      |                  |               |                  |               |                  |               |
|                       | 島ヶ原          |                      |                  |               |                  |               |                  |               |
| 伊賀                    | 山田           | 山口恭子                 | 宮寄美政             | 村木一晴          | 中森 研             | 村木一晴          | 中森 研             |               |
|                       | 西柘植          |                      |                  |               |                  |               |                  |               |
| 阿山                    | 壬生野          |                      |                  |               |                  |               |                  |               |
|                       | 河合           |                      |                  |               |                  |               |                  |               |
|                       | 丸柱           |                      |                  |               |                  |               |                  |               |
|                       | 鞆田           |                      |                  |               |                  |               |                  |               |
| 青山                    | 玉滝           | 一見俊介                 | 坂井真緒             | 一見俊介          | 坂井真緒             | 一見俊介          | 恒岡三恵             |               |
|                       | 阿保           |                      |                  |               |                  |               |                  |               |
|                       | 上津           |                      |                  |               |                  |               |                  |               |
|                       | 博要           |                      |                  |               |                  |               |                  |               |
|                       | 高尾           |                      |                  |               |                  |               |                  |               |
| 矢持                    |              |                      |                  |               |                  |               |                  |               |
|                       | 桐ヶ丘          |                      |                  |               |                  |               |                  |               |

## 伊賀市地域福祉ネットワーク会議と傾向

～地域福祉ネットワーク会議についてのアンケート調査集計結果～（H29,30年度）

### I 調査の概要

#### 1-1 調査の目的

住民自治協議会単位で設置されている地域福祉ネットワーク会議へのアンケートを実施し、運営状況や生活支援サービス、地域会議などの取り組み状況を調査し、地域福祉コーディネーターの具体的な地域支援活動につなげることを目的とする。

#### 1-2 概要

平成29年度に実施した地域福祉ネットワーク会議設置地域へのアンケート（27地区）から1年が経過した。平成30年度のアンケート調査（33地区）と比較し地域福祉ネットワーク会議の活動や取り組みの進捗状況を調査。また活動の妨げになっている要因の把握し、その内容を検証し、地域福祉コーディネーターが地域支援をしていくための活動指標、PDCA、伊賀市地域福祉活動計画の取り組みへ反映していく。

#### 2.調査対象

アンケート依頼時点で、地域福祉ネットワーク会議が立ち上がっている住民自治協議会

#### 3.調査方法

ネットワーク代表者宛にアンケートを郵送、または担当コーディネーターによる手渡しで配布

#### 4.調査時期

平成29年度…平成29年11月1日～同年12月1日まで

平成30年度…平成31年1月31日～同年2月12日まで

#### 5.調査票回収率

平成29年度

◎地域福祉ネットワーク会議 設置数…27地区

◎調査票配布数…27部

◎調査票回収数…26部

◎回収率…96.3%

平成30年度

◎地域福祉ネットワーク会議 設置数…33地区（平成30年12月25日現在）

◎調査票配布数…33部

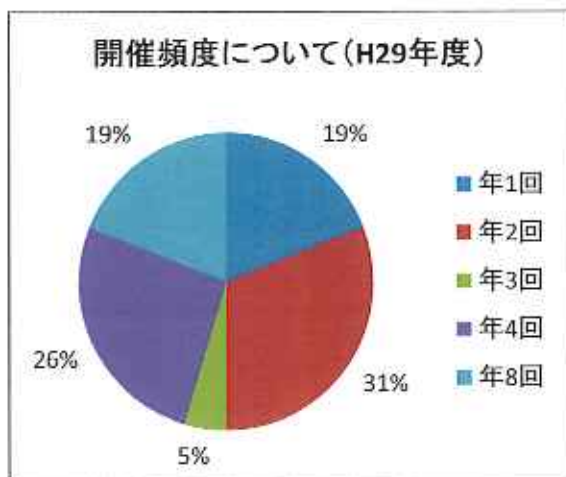
◎調査票回収数…32部

◎回収率…96.9%

## II 調査結果

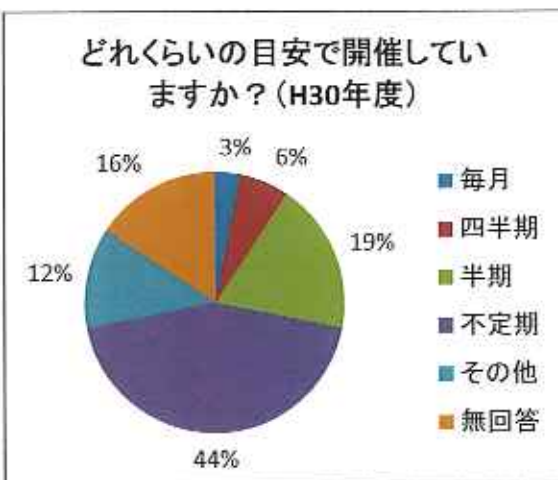
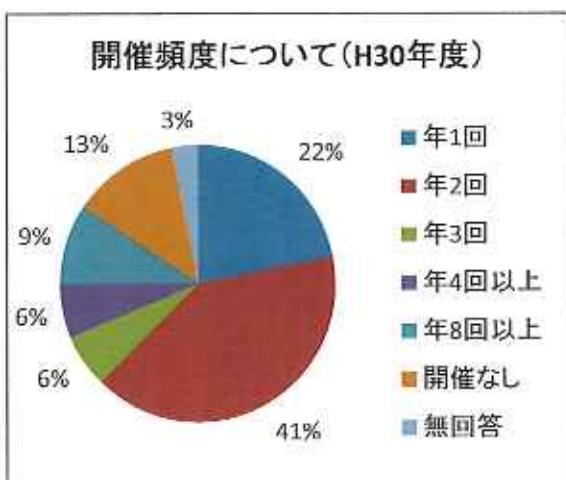
### A. 設立されたネットワーク会議の運営状況や課題について

#### Q 1. 年間に何回程度で開催されますか。



\*H29年度の調査票配布数は27地区

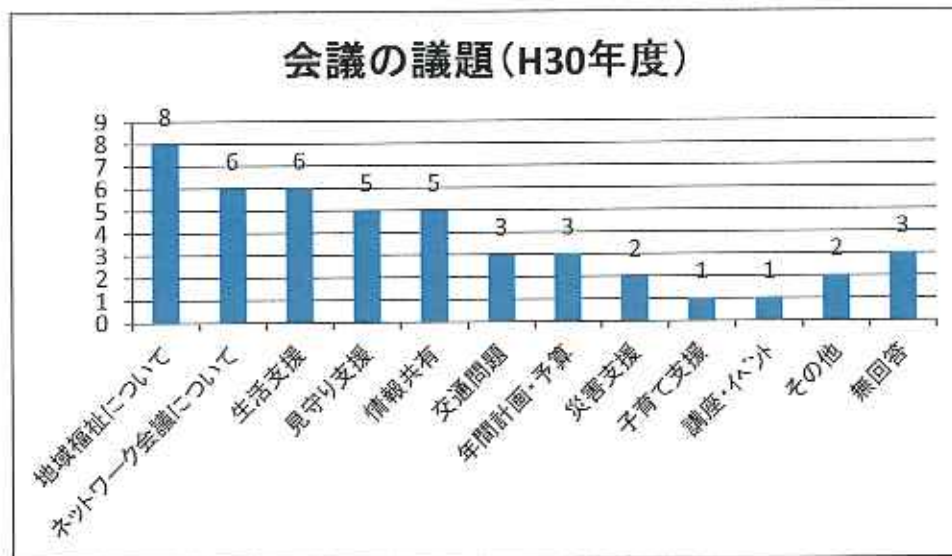
\*H29年度の回収率は…26/27 96.3%



- ・H29年度とH30年度を比較すると、H30年度のほうが全体的に開催頻度が少なくなっている。開催なしの地域もあった。H30年度は、地域福祉活動計画では全ての地域で地域福祉ネットワーク会議が立ち上げる最終年度であった。それ故、地域福祉コーディネーターが積極的に年度内の立ち上げ支援をし、会議体の立ち上げは完了したが、開催についてはこれからという事で、ネットワーク会議そのものの開催数が0回という回答も発生したとも考えられる。実際には、ネットワーク会議立ち上げに関して多くの会議や打ち合わせが開催されていると考えられる。
- ・H30年度は、年2回開催する地域が増加し、全体の41%を占めている。ネットワーク会議が稼働し始めた地域では、概ね半期に1回程度の会議開催が定着したのではないかと考えられる。

Q2. 会議の議題は、主にどのようなことですか？

(自由記述を以下の12項目に分類し集計、複数回答あり)



・「地域福祉について」の議題が最も多い。

〈具体例〉

- ・各地域の生活・福祉課題について
- ・地区の福祉の現状を話し合う
- ・いきいきサロンを通じて高齢者の実情について話し合い
- ・各自治会の支援対象者への支援方法について
- ・地域福祉事業の改善と向上策の検討と周知
- ・地域全体での支え合いの仕組みづくり
- ・地域内福祉活動について…など

Q3. 会議メンバーの参集人数は、平均して何人程度（何人程）でしたか？

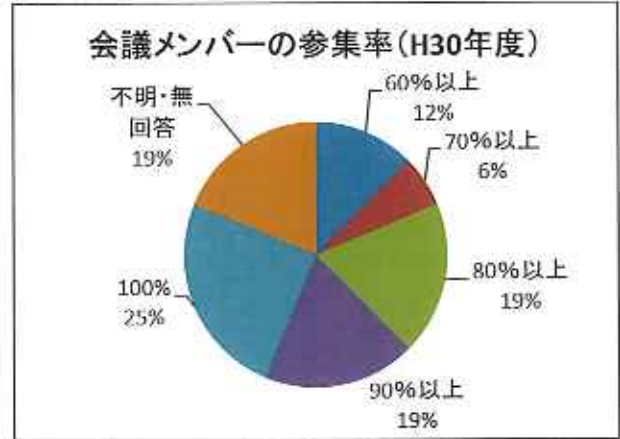
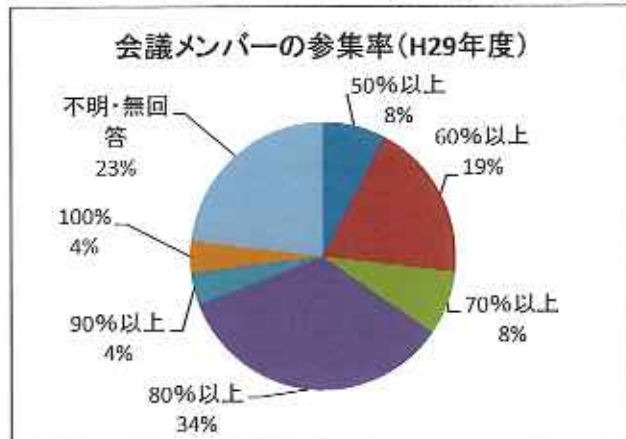
H29年度…総数の74%が出席

H30年度…平均、メンバーの86.2%が出席している。100%の地域もあり。

※全体の参集人数の合計/全体の会議メンバーの人数の合計で算出。

| 50%以上 | 60%以上 | 70%以上 | 80%以上 | 90%以上 | 100% | 不明・無回答 | 計  |
|-------|-------|-------|-------|-------|------|--------|----|
| 2     | 5     | 2     | 9     | 1     | 1    | 6      | 26 |

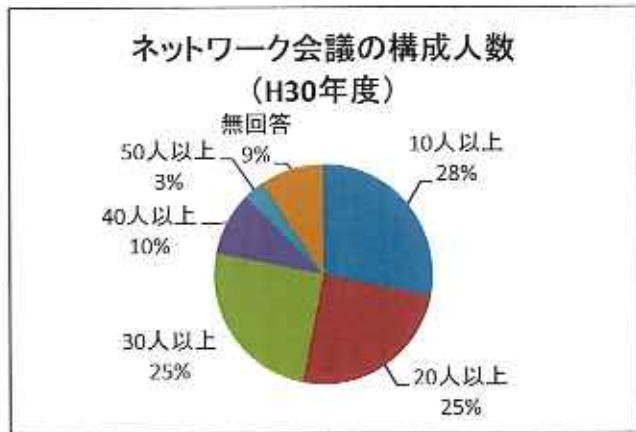
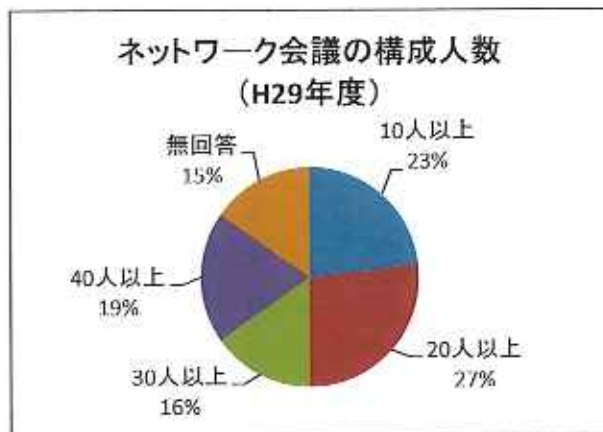
| 60%以上 | 70%以上 | 80%以上 | 90%以上 | 100% | 不明・無回答 | 計  |
|-------|-------|-------|-------|------|--------|----|
| 4     | 2     | 6     | 6     | 8    | 6      | 32 |



\*ネットワーク会議の構成員数

| 10人以上 | 20人以上 | 30人以上 | 40人以上 | 50人以上 | 無回答 | 計  |
|-------|-------|-------|-------|-------|-----|----|
| 6     | 7     | 4     | 5     | 0     | 4   | 26 |

| 10人以上 | 20人以上 | 30人以上 | 40人以上 | 50人以上 | 無回答 | 計  |
|-------|-------|-------|-------|-------|-----|----|
| 9     | 8     | 8     | 3     | 1     | 3   | 32 |

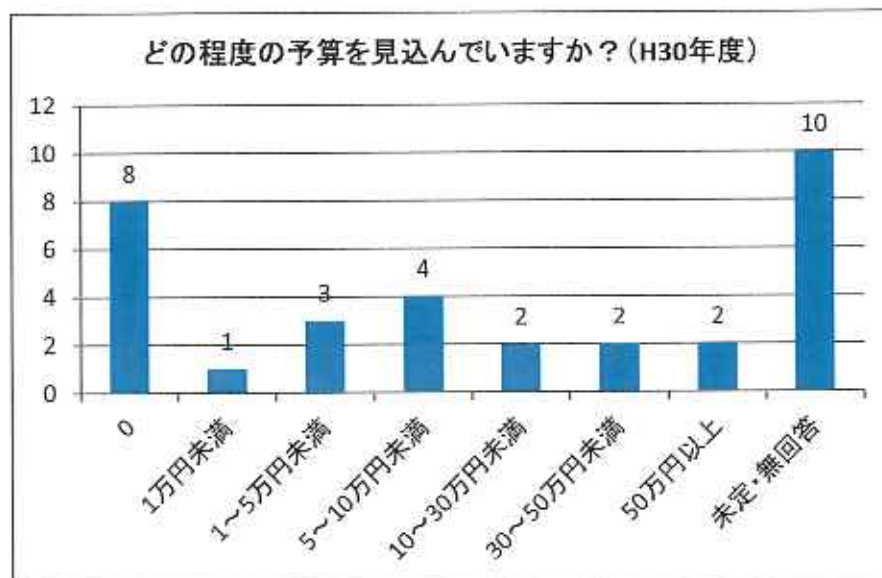


・H30年度では、ネットワーク会議の構成員数としては、「10人以上」、「20人以上」、「30人以上」の地域が約4分の1ずつを占めている。

・最も多い地域では、51人という地域もあった。

Q4. 活動資金の財源は何ですか。また、どの程度の予算を見込んでいますか。

| 0 | 1万円未満 | 1~5万円未満 | 5~10万円未満 | 10~30万円未満 | 30~50万円未満 | 50万円以上 | 未定・無回答 | 計  |
|---|-------|---------|----------|-----------|-----------|--------|--------|----|
| 8 | 1     | 3       | 4        | 2         | 2         | 2      | 10     | 32 |



H29年度…財 源：住民自治協議会から

予算金額：未定～465,000円まで様々

H30年度…財 源：自治協からの回答が半数を占める。(17/32地区)

すでに事業を行っている自治協は市などからまとまった助成を受けている地域もある。

例) 地域包括交付金、健康福祉部会費、地域福祉基金、  
地域支援事業、地域福祉事業、社会福祉協議会など…

予算金額：金額はかなりばらつきがある。

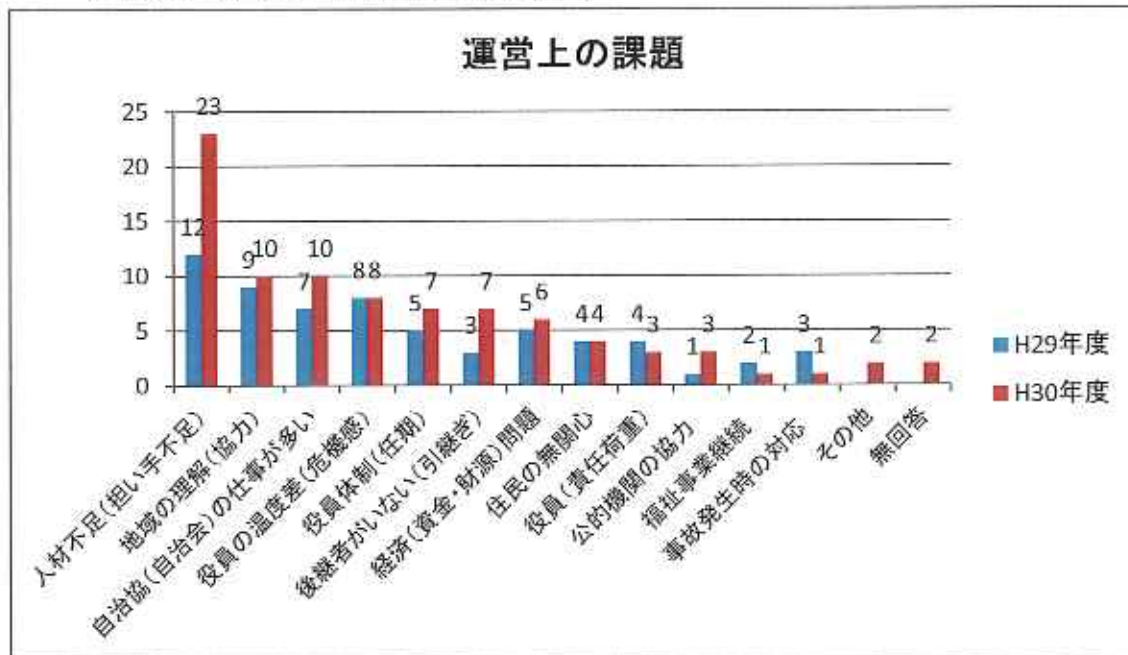
全く予算を計上していない地域、これから考えていく地域を  
合わせると18ヶ所であり、半数以上を占める。

数千円～数万円、数十万円を超える予算を計上している地域も  
あるが、既に事業化しているものの予算と思われる。



Q5. 運営するにあたり、どのような課題がありますか。

(主なものを3つに○印で回答ください。)



・H29年度とH30年度のトップ3はほとんど変わっていないが、H30年度には新たに「自治協（自治会）の仕事が多い」が第2位に上がってきている。

・最も多い「人材不足（担い手不足）」に関しては、H29年度からH30年度にかけてほぼ倍増している。

(※H29年度の調査票回収数…26部、H30年度の調査票回収数…32部で母数の差はあり。)

・H30年度のみ、「その他」、「無回答」の項目あり。

「その他」の回答のなかには、「すべて当てはまる」という回答もみられた。

Q6. 運営がスムーズに行くために、どのようなことが必要だと思われますか。(自由記述)

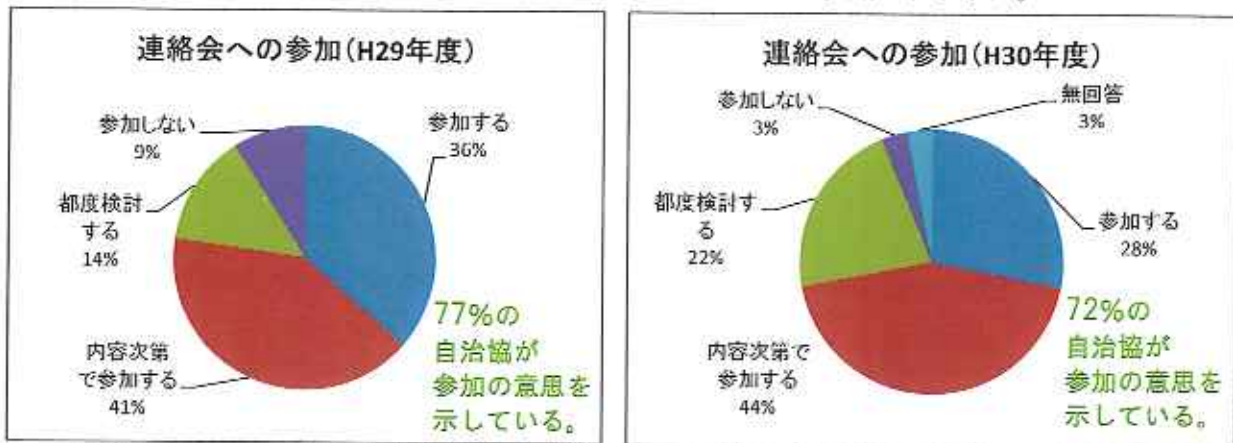
最も多かった意見が、地域の理解と認識。人材の育成・確保。

続いてリーダーの養成や体制づくり、財源、個人情報取り扱いと続く。

また、現状はスタートラインに立ったばかりという意見や、ネットワーク会議の位置付けや地域のニーズの把握など、これから進めていく地域の関心ごとに関する記述もあった。

## B. 地域福祉ネットワーク会議「連絡会」について

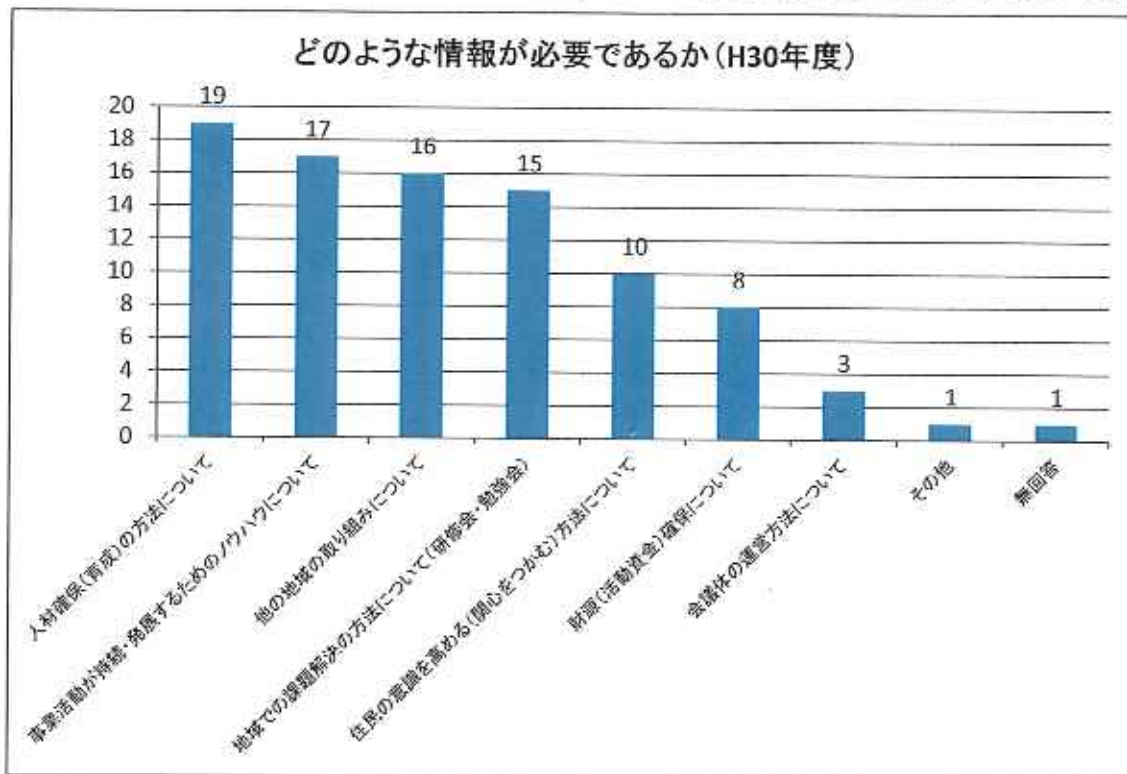
Q7. 地域福祉ネットワーク会議間での「連絡会」があれば参加されますか。



・H29年度とH30年度を比較すると、「連絡会」への参加の意思がある自治協は5%減少しており、72%となっている。

・「都度検討する」と考える自治協は8%増加している。この結果からも住民自治協議会が求める内容や欲しい情報が得られる内容で、連絡会を開催すべきであると考えられる。

Q8. 地域で福祉活動を進めていくにあたり、どのような情報が必要ですか。(H30年度)



C. ご意見をお聞かせください。

\*地域福祉ネットワーク会議で、社協の地域福祉コーディネーターには、どのような事を期待されますか。(自由記述)

〈具体例〉

- ・他地域の取り組みや活動についての情報提供をしてほしい
  - ・一緒に考え、適切なアドバイスや指導をしてほしい
  - ・解決するための有意義な会議になるように中心的な役割を担っていただきたい
  - ・課題内容改善への相談相手役
  - ・関係機関との連携役、ネットワーク作り
  - ・地域のニーズを的確に把握すること
  - ・地域人材の発掘・育成、リーダーの養成を図ること
  - ・地域に入り込んでくること
- …など。

# 地域のステキな 支えあい活動

No.1 (小田町住民自治協議会)

## ◆地域福祉活動を基盤としたネットワークづくりへ

小田地区では、これまで月1回のふれあい・いきいきサロンや、月2回食事サービスなど、ボランティアや民生委員児童委員、地区役員などを中心に、さまざまな地域福祉活動を展開してきました。

ある認知症ひとり暮らし高齢者の見守り活動をきっかけに、これまでの地域福祉活動や人々が横のつながりをつくり、地域全体でネットワークを作る必要性がでてきました。

そこで、平成28年3月に、「いきいきネット小田(地域福祉ネットワーク会議)」をたちあげ、小田地区で開催されている3か所のサロンボランティアが集まっています。いきいきネット小田は、小田地区内の高齢者の見守り活動を中心に、サロンの中で気になる方や、今後の地域福祉活動をどうすすめていくかを検討する場として開催しています。

### いきいきネット小田

構成員/サロンボランティア

地区役員  
民生委員児童委員  
元民生委員児童委員  
JAじゃがいもクラブ  
など

住民の  
意見集約

小田文化祭  
ワークショップなど

情報共有

地域活動  
の場

いきいきサロン「きぼう」  
いきいきサロン「ひまわり」  
いきいきサロン「北ファミリー」

認知症サロン

ふれあい健康麻雀サロン

## 小田地区ってどんなところ？

元々、農村地帯でしたが、高度経済成長をきっかけに、企業や商業施設が増え、地域が大きく変化している地域です。【人口 3,121人 / 世帯数 1,622 世帯 / 高齢化率 21.0% (H28年9月末現在)】



旧小田小学校  
(県指定有形文化財)

## ◆地域住民の声を地域活動の原動力に！

現在のメンバーは、地区役員、民生委員児童委員、ボランティア、社協地域福祉コーディネーターですが、今後は組長や老人クラブなど、活動を広げていくために必要に応じてたくさんの方に関わっていただく予定です。

また、いきいきネット小田として、「小田文化祭」でワークショップを開催し、住民から地域の良いところや課題などについて意見を集約し、それをもとに今後の取り組みの方向性について検討する予定です。

小田地区では、若い世代や外国人住民も多く、近所付き合いが希薄化している地域もあります。今後は10月から開設した、認知症の方とその家族を対象とした「認知症サロン(月1回)」のほか、11月から開設する介護予防を目的とした「ふれあい健康麻雀サロン(週2回)」など小田地区市民センターを拠点とした地域福祉活動を通して、いきいきネット小田で情報を共有していく予定です。



認知症サロン

「いきいきネット小田」が、小田の人たちがどこからでも繋がる輪の要となり、受け止められる組織になっていければと考えています。また、認知症サロンが認知症を地域の中で広く理解していただける場になることを願っています。



小田町住民自治協議会 福祉部会長  
谷川康子さん

## ♥小田地区の地域想いびと♥

小田地区担当 地域福祉コーディネーター 奥田詩織

平成26年度から小田地区を担当して3年目、当初は顔と名前がわかるのは民生委員さんと市民センターの職員さんのみで、どう関わればよいか解らない状況でした。平成28年4月

持ち前の明るさと厚かましさと行動力で、小田のいいところを見つけていきたいです！



から地域福祉コーディネーターとなり、まずは地理から学びたいという思いから、青色回転灯パトロールと一緒に乗せていただきました。次に、小田のみなさんと関わり、顔を覚えていただくため、地区内3か所で開催されているいきいきサロンに参加するほか、配食サービスボランティアJAじゃがいもクラブの活動見学、国際交流OTAともだちの会、シルバー人材センター(小田サポート会)などでお話をお伺いしました。

小田地区のすごいところは、地区役員と民生委員の関係が近く、お互いの情報を共有し、連携しながら地域を支援されていることです。民生委員さんも熱心で、一人の民生委員が声をかけると、みなさんが集まって会議が始まります。また、自治協の窓口である事務局は、社協と地域、民生委員と地区役員をつなぐ役割を担ってくださっており、何かとお願いをさせていただいています。

今後は、小田について一緒に考えあうワークショップから出てきた意見から、地域の強みや課題、今後の方向性を話し合い、地域活動者のみなさんが横のつながりを強くするお手伝いをさせていただきます。

# 地域のステキな 支えあい活動

No.2 (阿波地域住民自治協議会)

## ◆将来をみずえて「自立」した地域づくりを

阿波地区では、急速に進む高齢化や人口減少という課題から、自分たちで出来ることを実践しようと、平成16年より阿波地域まちづくり計画「住めば都：山里プラン」を推進してきました。平成27年に住民意識調査を実施したところ、生活環境面では買い物バスの運行や困りごと支援などの必要性や、また「さるびの」の活性化、防災・空き家対策、特産品の開発等の地域振興の必要性が明らかになりました。そのことをふまえ、平成28年より第2次地域まちづくり計画「あわトピアプラン（あわ7色ハートプラン）」の策定に着手し、将来の阿波地域のあり方を考え「自立」を意識したまちづくりに向けて取り組んでいます。

## ◆女性が活躍する、元気な阿波地域に

地域の婦人会組織等の衰退に伴い、女性が集い活動する場がなくなりました。阿波自治協では、各部会の女性委員で構成する女性委員会を立ち上げ、女性目線・感性を生かした提案や取り組みで自治協活動の活性化を図りました。その取り組みが「食の提供」につながり、女性委員会メンバーが中心となり自治協の支援を受けて、平成25年9月には「NPO法人あわてんぼう」を



設立し、旧東保育園の跡地を利用して「山里レストランあわてんぼう」をオープンしました。あわてんぼうでは、地域の高齢者世帯への弁当配食を通して見守

また、今後若少子高齢化が進むと予想される阿波地域ですが、さるびの温泉、あわてんぼうや地域のサロンなど多くの活動拠点がありません。すでにある地域力と協働し、地域のみなさんが住み慣れた阿波で安心して暮らせるように、阿波の取り組みを全力でサポートしていきたいと思っています。

地域の連輪ボランティアさんと一緒に運行ルートを走り慎重に試行を重ねてきたからこそ、地域の方に安心して利用していただける取り組みになったと思っています。先日参加した「阿波地域の未来をそうぞへみんな〜で考えるワークショップ」では地域の20代、30代の方が多く参加されており、阿波地域の10年後について一緒に考えました。ワークショップ形式での話し合いでは斬新な意見も多く、次世代を担う若い力と共に地域づくりをしていくことの重要性を考えるいい機会になりました。

## 阿波地区ってどんなところ？

伊賀市の東部に位置した山間地です。津市が隣接市で、生活圏域でもあります。

【人口 1,092 人 / 世帯数 403 世帯 / 高齢化率 46.2% (1128 年 9 月末現在)】



大山田品介 さるびの

り支援を行うとともに、昼間はレストランをオープンし、食材は地元農家と連携した「フレンドファーム」から調達して地産地消に取り組んでいます。

## ◆地域の住民力で課題解決「まごのて会議」

平成27年12月9日には、阿波全体の地域課題の検討の場として、地域ケアネットワーク会議「まごのて会議」を設立しました。アンケートなどからみえた地域ニーズを検討する場として、検討会議も開いています。この取り組みの中で、すでに買い物支援バス「まごのて号」を、地域で運行しています。今後も困りごとサポートや介護予防、世代間交流や見守り支援などの地域課題を住民力で解消できるよう、新たな取り組みを進めていきます。



### 検討会議（随時）

地域課題解消に向け、調査、報告、提案、課題への取り組みなど

(例) 買い物支援バス、困りごと支援、男性の店場づくり、若者の参画についてなど

### 「まごのて」会議

自治協全体で検討すべき事項について検討 (例) 財源など

構成員 / 住民自治協議会  
民生委員児童委員  
各地区老人クラブ代表  
NPO 法人あわてんぼう  
社協 大山田地域センター



阿波地区住民自治協議会  
会長 藤森 莊剛さん

地域福祉は、高齢化・人口減少社会のまちづくりの原点であり、策定中の「あわトピアプラン」の中心をなしています。そうぞへ大勢の住民が絆を大切に、助け合い、楽しく元気に地域活動ができるような自治協でありたいと思います。

♥ 阿波地区の地域想いひと ♥  
阿波地区担当 地域福祉コーディネーター 中森 研



安心してくださーい!!  
どんなことでも  
「相談にのります」

# 地域のステキな 支えあい活動

No.3 (きじが台地区住民自治協議会)

## ◆「友達づくり」からはじめる「地域づくり」

きじが台地区は昭和40年前半に開発された新興住宅地で、様々な文化や価値観を持った住民で構成されており、個人を中心とした生活環境にありました。そのため、力を合わせて自分たちの町づくりをしていくためには、住民同士の良い人間関係を築くこと（友達づくり）こそが、きじが台における町づくりの基本であるとして、行事や公民館活動を通じて人的交流を図ることからスタートしました。

## ◆生活課題の解決力が自治力の高まりに

これまできじが台は、団地の開発会社の倒産による水道供給停止問題など、ライフラインに関わるさまざまな問題にも直面してきました。その都度、「自分たちの町は自分たちで」をモットーに、安心・安全で住みやすい地域を目指して、市営水道の導入、美旗コミュニティバスの区内乗り入れ、青パト隊の設置、市民センター・公民館の開設、災害時の避難場所の指定、憩いの広場（公園）の開設、集会所と果樹園の確保、カラス対策ゴミ箱の設置等々、課題解決に向けて前向きに取り組み、自治力を高めてきました。

## ◆人生の最期まで住んで楽しいお互いさまの地域づくりを

地域の高齢化対策として、近隣住民による見守りや声掛け、「住んで楽しいお互いさまの地域づくり」を目指しています。常日頃から自然に見守りや声掛けができるよう、きじが台東自治会では、班編成を見直し、約10戸から約5戸に改編しました。自治協の健康福

## きじが台地区ってどんなところ？

伊賀市の南端に位置し、名張市に接している新興団地。住民は、大阪や奈良等の移住者が多数を占め、生活圏はほとんど名張市です。

【人口 736 人／世帯数約 300 世帯／高齢化率 32% (H28年9月末現在)】



きじが台地区市民センター

社協会では、**尅里会**（老人クラブ）が中心となった手作りの食事会を通して、ふれあいや仲間づくりをしてきました。それに加え、平成28年4月には「地域ケア部会」を新設し、部会を中心に5月から月1回、民家を改修した集会所において、地域住民の居場所（サロン）を運営しています。サロンでは、参加者同士のおしゃべりを中心に、お茶やコーヒーをセルフサービスで飲んだり、将棋、囲碁、麻雀、カラオケなど各人が自由に過ごせる場所として、男性も多く参加しています。また、現在はサロン運営がメインの地域ケア部会ですが、将来的には、できる範囲での生活支援も視野に入れて活動を展開していく予定です。



ふれあい・いきいきサロンきじが台

尅里会による行事や会食  
↓  
多彩な公民館活動やサークル活動  
↓  
参加の機会  
↓  
集会所でのサロン活動（月1回）

5戸程度による、班編成の再構築（東自治会）  
↓  
支えあいの体制づくり  
↓  
訪問・情報支援  
↓  
民生委員 児童委員

今後は、地区の高齢者対応、福祉関係を一元化し、老人会（尅里会）や健康福祉部会との連携や統合なども検討し、自分たち自身が楽しいきじが台、「住んで楽しいきじが台」を作っていきたいと思っています。

きじが台地区住民自治協議会 会長 嶋澤 正彦さん

私たちも知っている情報をお伝えしながら、どのような形がきじが台にとってよいかを一緒に話し合いました。その後、見守りや仲間づくり、介護予防、居場所づくりなどを目的として、きじが台全住民を対象とした、初めての「ふれあい・いきいきサロンきじが台」が地域ケア部会によって開催され、地域は大きく一歩を踏み出しました。地域の皆さんが進めてくださったこととはいえ、1回目のサロン開催のときには私にとって、何とも「えない喜びでした。また、きじが台の地域活動者の皆さんは、とにかくとても温かく、パワフルで、団結力があります。その地域への想いは、住民の皆さん一人ひとりが、近い将来、日常の中で近所さんを気にかけることに繋がります。困った時には誰もが自然に助け合えるようなきじが台になると信じています。また、応援させてもらえらることに私自身、とても感謝しています。

♥ **きじが台地区の地域想いびと** ♥

きじが台地区担当地域福祉コーディネーター 末廣 紀子

一人の力が地域の支え。お互いさまのまちづくりを応援します。

「きょうかしら分達でつくる町がたい好きに！」

きじが台地区の地域福祉コーディネーターに就任して、約1年になります。それ以前に地域福祉担当として関わらせていただいた時に、「気になっていた高齢化対策に力を入れていきたい。サロンについても知りたい。」というお声をいただき、サロン担当者と共に説明に伺いました。自治協や老人クラブの役員さんや民生委員さん等から、地域の状況や目指したい方向などのお話をお聞きし、

# 地域のステキな 支えあい活動

No.4 (白樺区)

## ◆白樺：福祉・防災ボランティアセンター

(毎週火・木・土、13:30～16:30)

週3回開所し、地域の様々な活動の拠点となっています。

○熱い場：お出かけの際いっしょく、おしゃべりの場

○相談ごと：介護や子育ての心配ごとや行政手続き等  
などの相談可

○子どもの遊びと学びの場：センター前の広場、卓球  
場が遊び場となったり、夏休みの学習や、木工・手芸  
の教室を開催

○催し物：介護や子育て、健康講座、手芸、趣味の会、  
防災訓練等様々なイベントを実施

○介護予防サロン：日常の居場所や各種講座を開催

## ◆担い手の広がり、活動が盛んに

自分たちの手で作り上げた拠点に愛着を持ち大切に  
しながら、地域のボランティアによって自主的な運営  
をしています。活動継続のため、少しずつ次世代への  
継承も行い、担い手の広がりとともに取り組みが深ま  
ってきています。また、広報「ボランティアだより」  
は全戸に回覧しており、区民の情報源となって各行事  
への参加者が増えています。このセンターが出来たこ  
とで人の流れが大きく変わったことを実感します。

## ◆活動上の課題

会の発足当初のメンバーも徐々に高齢化してきてい  
るため、新しい取り組みや事業の拡大に対して前向き  
に考えたい気持ちはありながらも、これまでのように  
積極的になりづらいというのが現状です。現メンバー  
より少しでも若い人に出来るところから継承を試みて  
いるところです。

「昔からある場所  
を改修して、地域  
の誰でも気軽に立  
ち寄れる場にでき  
たら・・・」白樺区  
福祉・防災ボラン  
ティアセンターど  
んぐりは、そんな  
ひとことから始ま  
りました。当時の  
エリア担当者として、ちょうどその頃募って  
いた「地域支えあい体制づくり事業補助金」  
へのエントリーをお勧めし、拠点整備が実現  
しました。

改修工事は、みなさんの手で本当に驚くほ  
どの速さで行われ、資材もほとんど地元の業  
者さんからの提供、文字通り「手づくり」の  
場が出来上がりました。センターは今、区  
の老若男女から親しまれ、ペットと一緒に立ち  
寄りたり、夏休みの宿題をしたりと、手づく  
りだからこそその温かい雰囲気にも包まれていま  
す。

「ボランティアは自発的な活動だ」というボ  
リシーを強く持ち続けて、自己資金づくりに  
も積極的です。その中心となるのが、発足当  
初から隔月で続けている廃品回収で、白樺区  
民に定着してたくさんの方の協力が得られていま  
す。

ここで生まれた絆が大切に育まれて、笑顔  
と支え合いの輪が広がっていくようにお手伝  
いしたいです。

## 白樺地区ってどんなところ？

安政の伊賀上野大地震の前震が記録  
に残り、防災に高い関心があります。  
花垣自治協の中でも住民による取り  
組みが盛んな地域です。

【人口 295 人／世帯数 89 世帯／  
高齢化率 40.1% (H29年1月末現在)】



白樺 福祉・防災  
ボランティアセンター

## ●白樺区のあゆみ●

H16 年 ふれあい・いきいきサロン「しゃべらん会」  
(永谷組) 開始

～他地区でもサロンを希望する声や、独居の方の心  
配ごとが聞かれるようになる～

H23 年 2 月 ボランティア募集

4 月 白樺：福祉・防災ボランティアの会発足

12 月 ボランティアセンター改修作業、地域住民  
の手により開始

H24 年 3 月 白樺：福祉・防災ボランティアセンター  
どんぐり完成披露のつどい、これ以降週3回開所

H28 年度より市の介護予防サロン活動支援事業開始

## ○白樺区における、支え合いのコミュニティサイクル (イメージ図)



白樺：福祉・防災  
ボランティアセンター  
事務局長 東 博さん

今後は、若い人にも  
担ってほしいと思っ  
ています。そのため  
出来ることから無理  
のない範囲で役割を  
持ってもらおうとい  
います。このセンター  
が地域にとって「みん  
なの顔が見える場」、  
みんなの声が聞ける  
場」でありつづけれ  
るようにと願ってい  
ます。

## ♥白樺区の地域想いびと♥

花垣地区担当 地域福祉コーディネーター 吉田文江  
(平成28年度担当)



今日は誰がいるかな？  
センターは、みんなの  
声が聞ける場所です。

# 地域のステキな 支えあい活動

No.5 (丸柱地域まちづくり協議会)

## ◆拠点活用をきっかけとした、 生活課題解決へのしくみづくりに着手

丸柱地域では、閉所後の保育所の活用について、「地域の課題解決の拠点として活用できないか」と、地域住民が抱える生活課題を把握するために、18歳以上を対象として「地域で安心して暮らすため」のアンケートを実施し、課題解決のための組織として、地域福祉ネットワーク会議準備委員会を平成28年4月～7月に6回開催し、8月に設立総会を行いました。

地域福祉ネットワーク会議（以後、会議）では、アンケートで出てきた地域の生活課題別に、5つの専門部会を設置し、さらには、部会ごとに詳細なアンケートを実施しました。介護保険事業や送迎サービス事業などは、法律や制度の壁があり厳しい現状になっていますが、それでも「できることから始めよう」と、生活課題解決に向かっています。

## ◆活動のポイントと課題

活動がうまくいっているポイントとしては、

- ★「地域をよくしたい」「住みよくしたい」と、会議のメンバーの思いが同じ方向を目指している。
- ★「できることから始めよう」と、地域の生活課題解決に前向きに取り組んでいる。
- ★会議の構成メンバーが40～70代と年齢が幅広いこと、男性に偏りがちな地域組織が、女性のメンバーも多く、年齢や性別に関係なく意見が出る。
- ★既にまちづくり協議会で取り組んでいる事業を拡大や充実することによりできる事業がある。
- ★思いや、意見を出し合える環境がある。

## 丸柱地区ってどんなところ？

滋賀県との県境、伝統工芸「伊賀焼の里」、自然豊かな地域です。  
【人口 674人/世帯数 190世帯/高齢化率 34.9% (H29年1月末現在)】



まるばしら保育所

## ●丸柱地域まちづくり協議会の活動のあゆみ●

- H26年7月～28年2月 まるばしら保育所閉所に向けての懇談会
- H28年2月 「地域で安心して暮らすため」アンケート実施
- H28年4～7月 地域福祉ネットワーク会議準備会開催
- H28年8月 設立総会

★地域全体で取り組もうという意識がたかい。  
などがあり、課題としては、介護や移送などの専門部会では、制度や法律の壁があるため、関係部局との調整が必要であったり、次世代のリーダーの育成などがあります。

## ★丸柱地域福祉ネットワーク会議と5つの専門部会

**丸柱地域福祉ネットワーク会議**  
(メンバー)  
議長、副議長、  
区長、事務局長

**5つの部会**

- ①高齢者の介護・介護予防サービス事業
- ②移送サービス事業
- ③子育て支援・生きがいづくり事業
- ④給食(配食)サービス事業
- ⑤ちよこつとお助け隊事業



丸柱地域まちづくり協議会  
丸柱地域福祉ネットワーク会議  
副議長 奥野 忠彦さん

●誰もが生まれ育った地域で暮らし続けられる地域作り  
●伝統工芸を愛する人の移住促進  
●地域の雇用対策につながる など、不安なく暮らせる仕組み作りを、保育所を活用しながら地域のみなさんと取り組んでいきたいです。

## ♡丸柱地区の地域想いびと♡

丸柱地区担当 地域福祉コーディネーター 猪岡恵理美 (平成28年度担任)



平成26年、阿山地区の4自治協地区担当として「地域を知る」ことからスタートしました。  
平成28年より地域福祉コーディネーターとして今まで以上に熱く濃くかわった1年が駆け抜けました。

丸柱地域は、とにかく地域が、人が、熱い、とにかくすごい、住民力・地域力で、「何れ行く道、来た道」と、様々な課題を自分の課題と考え、前向きに取り組む姿は本当に素敵です。

「自分たちができる時に、できることをしよう」と、様々な仕組み作りのために、思いを込めて活動している地域の皆さんの応援団として、少しでもお役に立つことにはないか、との思いでいます。今、何を必要としているかを考え、参考になる資料を提供したり、他の地域や人とのつなぎ役をできるように努めました。

これからも、地域で「不安なく・暮らせる・仕組み」を作るための、お役に立てればと思っています。

※平成29年度より、丸柱地区は、福山有美(あのみ)地域福祉コーディネーターが担当します。



# 地域のステキな 支えあい活動

No.6 (矢持住民自治協議会)

## ◆市内高齢化率1位、災害時孤立地域指定 …地域の危機感を、地域の結束力に!

極端な人口減少や少子高齢化を迎えた矢持地区では、地区行事等で血圧や体組成測定を行うなどの介護予防や、地域防災力の強化に取り組んでいます。また、対話や情報共有・関係機関の連携により、内部結束と橋渡しで、地区の持続可能化に挑戦しています。

## ◆人が集うことは見守りにつながる

「集うこと＝見守り」の一つと考える矢持地区では、ふれあい・いきいきサロン活動は重要な役割を果たしています。7地区で開催されるサロンでは、「自分たちの地域で体調不良の人はいないか?」、「地域行事の進行具合は?」等の様々な情報を得ることができます。

サロンで得た情報を始め、地区の課題はまず、地区ごとに開催される「地域会議」で話し合い、その情報を全体会議である「地域ケアネットワーク会議」で共有し、専門機関から助言や具体的な支援解決していくという仕組みが構築されています。

## ◆安心して暮らせる集落をめざして

矢持では、それぞれの地区にあった「見守り」の取り組みが行われています。全戸に集議所の鍵が配布され、好きな時に集議所に集えるようにした地区や、サロンとは別に住民が気軽に集まることのできる機会を増やそうと、月1回の「井戸端カフェ」が提案され、地元在住の看護師も元気測定を提案、地域も受け入れてスタートした地区もあります。

住民が主体的に提案し、地域も受け入れ動き出すことで良い循環が生まれています。

昨年からは地域福祉コーディネーターとして、地域の思いを大切に寄り添いながら、より住みやすく、生活しやすい地域であり続けられるようお手伝いしていきたいと思えます。

地域福祉コーディネーターとして、地域の思いを大切に寄り添いながら、より住みやすく、生活しやすい地域であり続けられるようお手伝いしていきたいと思えます。

## 矢持地区ってどんなところ?

伊賀市の南に位置し、県の災害時孤立地域に指定された山間地です。  
【人口 531 人/世帯数 254 世帯/高齢化率 60.4% (H29年1月末現在)】



## ●矢持住民自治協議会の活動のあゆみ●

- H21～23 年度 厚労省「安心生活創造事業」モデル地区指定、アンケート調査・社会福祉士個別訪問、7地区でいきいきサロン開始
- H25 年度 見守りによる支えあい実施(地域会議・市内初「地域ケアネットワーク会議」発足、見守りネットワーク「意見交換会」開催)
- H26 年度～ 見守りネットワークの構築(専門職・専門機関・行政等との連携)
- H27 年度～ 介護予防活動実施

## ★矢持地域ケアネットワーク会議

地域包括支援センター・社会福祉協議会・専門機関

↑連携

↓参画

矢持地域ケアネットワーク会議(年数回開催)

【メンバー】自治協会長・副会長・事務局・健康福祉部会長・副部会長、各区分長・小場長、民生委員、各地区見守り支援員代表者、各サロン代表者、行政支所、包括、福祉施設(森の里)、社協(計35人)

【検討内容】地区の課題共有、見守りの手法 など

↑情報共有 ↓

地域会議(各区分単位、区内で課題発見時に随時開催)

【メンバー】区分長・区分代理・会計、サロンメンバー等  
※各区分・小場ごとに異なる

【検討内容】見守りが必要な方の現状把握を始め、個別の相談や防災等、さまざまなこと

必要に応じて連携



矢持地区住民自治協議会  
会長 西 良二さん

少子高齢化の厳しい地域ですが、「いきいきサロン」での出会いや交流、「地域会議」での話し合いや情報共有を通して、「元気で」、「安心して暮らせる」、「矢持の郷づくり」をめざして行きます。



矢持地区の地域想いひと

矢持地区担当地域福祉コーディネーター 坂井真緒



昨年からは地域福祉コーディネーターとして、地域の思いを大切に寄り添いながら、より住みやすく、生活しやすい地域であり続けられるようお手伝いしていきたいと思えます。

担当させていただいている矢持地区は、10年以上も見守り活動に取り組まれている経験豊富な地区であり、多くの「気づき」と「学び」を与えてくださる地域です。

長年、「見守り」について考えてきた矢持地区だからこそ、住民の皆さんの「こんなことしてみたい」、「こんなことしてみよう」という声を、実行に移すという土壌が培われ、それが看護師資格を持つ住民による元気測定や、ふらっとよれる「井戸端カフェ」につながったのだと感じています。

地域ケアネットワーク会議の中で、「社協職員がもっと地域に出て、顔が見える関係に」とのお声をいただきました。それを受け、見守りの要であるサロンに何うようになり「参加しないと、地区の情報が得られやん。」や、「詐欺の電話がかかってきた」等、表面化しにくい地域の問題やサロンの持つ役割の大切さを肌で感じる機会となつていきます。

地域福祉コーディネーターとして、地域の思いを大切に寄り添いながら、より住みやすく、生活しやすい地域であり続けられるようお手伝いしていきたいと思えます。

# 地域のステキな 支えあい活動

No.7 (柘植地域まちづくり協議会)

## 柘植地区ってどんなところ？

伊賀市の東の玄関口であり、松尾芭蕉、横光利一のゆかりの地です。また鈴鹿国定公園の特別地域に指定されている余連公園はつつじの名勝地です。  
【人口：3532人／世帯数 140／世帯／高齢化率 38.2% (129.9未現在)】



### ◆一人ひとりが生き生きとふれあい、支えあい、暮らせるまちづくり

柘植地域まちづくり協議会では、早くから災害時の要援護者の避難支援として区の自主防災組織の充実、支援ネットワークづくりをすすめ、平成19年には災害時安否確認マニュアル、柘植地域共通の確認シートを作成し、柘植全域で毎年訓練を実施しています。

平成28年6月には地域課題の検討の場として地域福祉ネットワーク会議「つげふくしネット」が設立されました。また同年12月には地域で安心して暮らすためのアンケートを実施しました。

福祉問題をはじめ、あらゆる地域ニーズを解決していくために、世代を超えてふれあい・支えあい・健康でいきいきと暮らせるまち「都美恵(つげ)」を目指しています。

### ◆自分たちの力で課題解決！地域福祉ネットワーク会議「つげふくしネット」

つげふくしネットは、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、2025年に向け地域の福祉課題の解決の場として設立しました。地域での見守り活動、支え合い活動を区や組単位で解決していけるしくみづくりとして柘植地域すべての地区で地域の状況にあったかたちの地域会議(地域見守り隊)が設置できるよう支援しています。

また、今年度は平成28年度に実施した地域アンケート結果から見えてきた課題の検討や伊賀の交通の現状と今後を考える機会として、地域交通を考える会を開催しました。

### ◆NPO法人「ゆいの里」

NPO法人ゆいの里では、柘植地域の買い物支援として平成23年から「高齢者・障がい者お買い物無料送迎バス運行事業」をマックスバリュと提携しお買い物バスを運行しています。柘植からはじまった取り組みが今では全市的な取り組みへと発展しています。



### ◆新たな地域拠点！「杜のカフェいこいこ」がオープン！

旧柘植保育園が廃園となり、保育園を残しながら活用できる方法はないかと、地域住民の有志が中心となり、NPO法人を設立し、常設のカフェサロンとして運営しています。近所の仲間のお茶会にママ友の情報交換の場、介護予防やサロン活動などさまざまな地域活動の拠点となっています。



少子高齢化、とりわけ高齢化がすすみ、多様な地域社会の課題を解決していくためには、山田区や中柘植区、倉部区で取り組んでいる区単位の見守りのしくみ、課題検討の場が重要になっていきます。また柘植保育園跡地に「杜のカフェいこいこ」がオープンしました。地域の人が気軽に集える憩いの場、地域の新たな活動拠点となることを期待しています。



柘植地域まちづくり協議会 代表 半田 三都生

柘植地域は地域課題に対して先駆的に取り組んでいる地域で住民意識も高く、防災や買い物支援、地区単位の地域会議(見守り隊)など、いち早く取り組んでおり、紙面で紹介できなかったステキな取り組みもたくさんある地域です。しかし平成28年度に実施した地域アンケートでは次世代の担い手不足や交通問題、空き家対策、将来への不安など新たな課題も浮き彫りとなりました。あらゆる地域課題の解決において地域のみならずと一緒に考え、これからも全力で支援していきたいと思えます。

平成29年度よりいがまち地域を担当しています。1年目で地域のことにはわからないことばかりでしたが、地域の皆さんに柘植の歴史や取り組みなどいろいろ教えてもらいながら、あたたかく支えていただいております。最近では地域に行かせてもらうと声をかけてもらえるようになりました。

安心して下さい。どんなことでも相談に乗ります！



◆ 柘植の地域想いびと ◆  
柘植地域担当  
地域福祉コーディネーター 中森 研

# 地域のステキな 支えあい活動

No.8 (朝日ヶ丘町)

## 朝日ヶ丘暮らしのお手伝いの会の概要

◆発足日 平成27年4月1日

◆活動目的

朝日ヶ丘町居住の高齢者、要支援者、ひとり親家庭等が、安心・安全で快適な日常生活が送れるよう、生活のサポート（見守り・サロン・暮らしのお手伝い）を行うことを目的とする。

◆お手伝いの作業項目

ゴミ出し（無償）、見守り（無償）、粗大ゴミ解体作業、掃除、草刈り作業、庭木剪定作業、蛍光灯交換作業、買い物送迎・代行（Aコープ・コメリ・薬局・郵便局他）、その他依頼者のニーズに合った生活サポート作業

◆組織

会長：1名 副会長：2名 事務局：1名  
会計：1名 窓口：3名 会員：7名 合計：15名

◆会議体

定例会議：1回/月  
（会長、副会長、事務局、会計、窓口）  
推進会議：1回/3ヶ月（全員）

◆活動のポイント

☆登録者カードに「支援可能項目」と「資格」の記入欄があり、できることを明確にしている！

☆依頼書と実施報告書を作成しており、確認機能がある！

☆朝日ヶ丘暮らしのお手伝いの会副会長は自治会長を位置づけている。

☆気軽に頼めるように窓口が1名ではなく複数体制である。



会議風景

## 朝日ヶ丘町ってどんなところ？

近鉄大阪線伊賀神戸駅から北西に徒歩約10分。昭和40年の終わりごろに関西方面のベッドタウンとして開発されました。10年前は高齢化率が31.5%でしたが、現在は41.7%になっていることから、朝日ヶ丘暮らしのお手伝いの会の活動が神戸地区住民自治協議会のモデルになっています。

人口405人/世帯数187世帯（H29年9月末現在）



買い物送迎



庭木選定作業

●活動のあゆみ●

- ・H24年神戸地区地域で安心して暮らすためのアンケートの実施
- ・H25年7月神戸地区支え合いネットワーク協議会発足
- ・H26年5月住民世帯調査実施（自治会活動）
- ・H26年5月～立ちあげ準備打ち合わせ（7回）
- ・H26年8月ボランティア募集説明会開催
- ・H27年2月ボランティア協力者説明会開催
- ・H27年3月朝日ヶ丘自治会通常総会  
→朝日ヶ丘暮らしのお手伝いの会承認
- ・H27年度よりお手伝い活動を実施している。

アンケートの実施や地域会議を開くなど、自治協・自治会で時間をかけて丁寧に検討を重ねて生まれた取り組みです。

こういった活動は継続が大切です。メンバーが固定しないよう、たくさんの人に関わってもらい、声を聴いて進めていけたらと思います。



暮らしのお手伝いの会  
会長 木村治俊さん 事務局長 井波鉄郎さん

1月には、買い物や通院等の交通手段として「地域連行バス運営協議会」が発足する等、神戸の活動は益々進化しています。

そのような神戸地区内にある「朝日ヶ丘暮らしのお手伝いの会」は、会の発足時も丁寧に検討を重ねていましたが、発足後も毎月定例会議を行い、活動の確証やふりかえりの場が設定されています。

今後、地域のつながりがある神戸地区を応援しつつ、朝日ヶ丘暮らしのお手伝いの会のような活動がさまざまな地域に広がっていくように発信していきたいと思えます！



朝日ヶ丘町の地域想いびと  
神戸地区担当 地域福祉コーディネーター 奥田詩織

# 地域のステキな 支えあい活動

No.9 (NPO法人まちづくり桐ヶ丘)

## ◆桐ヶ丘地区の概要

桐ヶ丘地区は昭和58年に大阪や近隣のベッドタウンとして造成が始まった団地であり、最初に桐ヶ丘自治会が発足し、平成14年「青山町ふるさと創生基金」を活用した地域創生事業の受け皿として平成16年に「NPO法人まちづくり桐ヶ丘」が立ち上がりました。そして、平成17年に桐ヶ丘地区住民自治協議会が設立され、地区内で実施される行事をこの三つの団体はじめ、公民館、きらく会(老人クラブ)等多くの団体や住民の皆様のご支援をいただき、各種行事や活動を実施しています。

## ◆NPOの活動

NPOまちづくり桐ヶ丘では、地域福祉の向上を目的に家事援助や庭の草取りなどの「たすけ愛」事業や、地域コミュニティの創造と確立を目的に夏祭りや生洋学習の推進に力を入れている他、公共施設の維持管理や生活環境保全の美化活動のため、駐車場の維持管理や草刈り、リサイクル活動に取り組んでいます。

## ◆自主財源は住民の協力があってこそ

地区住民の皆様のご協力による「リサイクル回収」の収益金も大切な財源です。

毎週土曜日(第5曜日除く)に新聞紙や段ボールの古紙回収やペットボトル、アルミ缶等のリサイクル回収を実施し、年間90万円近い財源を確保しています。この財源を活用し、自分たちの活動だけでなく、地域行事を盛り上げたり、地区内の防犯カメラやカーブミラーの購入資金にも充てられたりしています。

## ◆すべての住民を見守る仕組みづくり

「高齢者・障がい者互助ネットワーク委員会(※1)」と「防犯・防災ネットワーク委員会」という2つの委員会があります。この2つの委員会のキーワードは「見守り」。前者の委員会では、「高齢者や障がい者の方をどのようにすれば見守ることができるか?」を考え、後者の委員

会では、地域の防犯・防災の啓発活動を始め、子どもたちの登下校の見守りに積極的に取り組んでいます。2つの委員会の構成団体の一員としてNPO法人まちづくり桐ヶ丘も委員会や活動に参加しています。

※1 桐ヶ丘地区では地域福祉ネットワーク会議を「高齢者・障がい者互助ネットワーク委員会」という名称で開催しています。

この地区には、「あんなことをしてみよう」、「こんなことに取り組んでみよう」と、たくさんお取り組みを自分たちで生み出し、また良いと感じた物を取り入れいれいくステキな力があると感じています。「新しい事に取組みよう」という地域性の中で、NPOが平成26年から始めた軽度生活援助「たすけ愛」は、元気高齢者の生きがいという役割だけに留まらず、一人暮らしの高齢者の方の楽しみにもつながっています。市民にとって良い影響をもたらしています。そんな素敵な支え合いが地域の中で広がるようこれからも頑張っていきたいです。

なお、平成30年度からは、桐ヶ丘地区を含む南部圏域の地域福祉コーディネーターは恒岡三恵が担当することになりました。よろしくお願いたします。

## 桐ヶ丘地区ってどんなところ?

地域の特徴：大阪や近隣のベッドタウン  
人口/5,112人 世帯数/1,995世帯  
高齢化率/22.2%(平成29年9月30日現在)

## ◆「からだが動く限り続けたい」

NPO法人まちづくり桐ヶ丘が、平成26年に取り組み始めたのが軽度生活援助「たすけ愛」です。

この事業では、庭木の剪定や家事援助等を行っており、昨年度も60件近くの実績がありました。

スタッフは定年退職した元気な高齢者が中心で、新たな自分の活躍の場として積極的に活動をしています。また、お一人暮らしの高齢の利用者にとっては、家事援助はもちろんのこと、話し相手としての役割も担っており、お互いの「楽しみ」にもなっています。

「たすけ愛」活動  
剪定の様子



元気な高齢者の皆さんの活躍で活動が成り立っています。今後、定年退職をした方、される方等に担い手になってもらえるよう、生涯学習講座や地域行事に取り組んでいきたいと思っています。



NPO法人 まちづくり桐ヶ丘  
理事長 松野 博行 さん

桐ヶ丘地区の地域想いびと  
桐ヶ丘地区担当 地域福祉コーディネーター 坂井 真緒

桐ヶ丘地区は、自治会・自治協、そしてNPO法人まちづくり桐ヶ丘の3団体を中心に、民生委員・児童委員や老人クラブ(きらく会)等が協力し地区行事を実施しています。昨年度は、明るく綺麗な地区づくりを目指し「挨拶運動」や「環境美化」のポスターを人が集まる集会所や電信柱等に掲示する取り組みを始めました。また、社協会費で実施している「わたしの安心シート」の更新について地域を挙げて取り組んでいたことや、社協と消防署が共同で実施しているAED啓発マップの作成掲示にも積極的にご意見いただいたりすることで地域の実情にあったマップ作りができました。

この地区には、「あんなことをしてみよう」、「こんなことに取り組んでみよう」と、たくさんお取り組みを自分たちで生み出し、また良いと感じた物を取り入れいれいくステキな力があると感じています。「新しい事に取組みよう」という地域性の中で、NPOが平成26年から始めた軽度生活援助「たすけ愛」は、元気高齢者の生きがいという役割だけに留まらず、一人暮らしの高齢者の方の楽しみにもつながっています。市民にとって良い影響をもたらしています。そんな素敵な支え合いが地域の中で広がるようこれからも頑張っていきたいです。

なお、平成30年度からは、桐ヶ丘地区を含む南部圏域の地域福祉コーディネーターは恒岡三恵が担当することになりました。よろしくお願いたします。

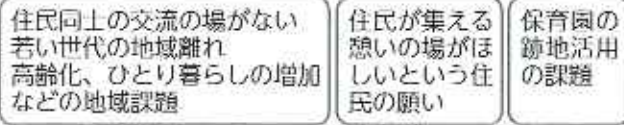


# 地域のステキな 支えあい活動

No.11(NPO法人杜のカフェいこいこ)

## ◆閉園後の保育園を新たな地域活動拠点に!

柘植地域では、少子化の影響もあり保育園が閉園し、跡地の活用が課題となっていました。そこで保育園の跡地を地域活動の拠点に活用しようと地域住民の有志で検討をはじめました。またアンケートからも住民同士の交流の場がない、若い世代の地域離れ、高齢化、ひとり暮らしの増加等の地域課題がたくさん浮き彫りになり、住民が集える憩いの場所がほしいとの地域の思いから、拠点の活動内容は常設カフェ、地産地消のランチ、配食(お弁当)、見守り、サロンを実施することになりました。



常設カフェ、地産地消のランチ、配食(お弁当)  
見守り、サロンの検討へ

## ◆NPO 法人 杜のカフェが誕生!

平成29年12月に、柘植保育園の跡地を活用し、住民が気軽に集える常設型カフェとしてオープン。まちづくりや福祉に関わってきた住民や、趣旨に賛同したスタッフ17名で運営しています。

★営業時間★  
カフェサロン 10:00~16:00  
ランチタイム 11:30~14:00  
(定休日 土・日曜日)



柘植地域の地域想いびと  
NPO 法人 杜のカフェいこいこには、立ち上げ当初から関わらせていただきました。カフェのオープンから早くも一年が経ち、地域の皆さんの憩いの場となり喜ばれています。スタッフの皆さんも、変わらず元氣いっぱい活動されています。

今後地域での憩いの場として、配食サービスやふくしの困りごと相談など、新たな取り組みの実現に向けて、スタッフの皆さんと共にすすめていきたいと思っております。



柘植地域担当 地域福祉コーディネーター 中森研

## 柘植地域ってどんなところ?

伊賀市の東の玄関口で、松尾芭蕉、横光利一のゆかりの地です。また鈴鹿国立公園の特別地域に指定されている余野公園はつつじの名勝地です。  
【人口 3490 人/世帯数 1386 世帯 / 高齢化率 39.7% (H30.9 末現在)】



杜のカフェいこいこ

## ◆杜のカフェが提供するさまざまなサービス

### ①常設カフェと、ランチの提供



カフェは手づくりスイーツ、ランチは地域の旬の野菜を取り入れた普段の家庭料理に近いランチを、500円で提供しています。お茶を飲みながらの集まりや会合、地区のサロン活動に利用されています。



### ② デイサービスへの昼食提供

隣接している「ふれあいステーション都美忠」の昼食づくりもしています。必要な利用者にあわせて、刻み食やとろみ食にも対応しています。



### ③ 介護予防サロンの実施

柘植地域の方が気軽に参加できる居場所づくりの一つとしてサロンを実施しています。内容は折り紙、塗り絵、介護予防体操、毎月の定着メニューは、団扇・将棋・俳句・手芸・生け花などさまざまなメニューがあります。



杜のカフェいこいこ スタッフのみなさんと、理事長の森下泰成さん(左から4人め)



今後もスタッフ一丸となり、ますます心地よい居場所づくりをめざして、カフェの運営やサロン活動に加えて、ひとり暮らしの高齢者への配食サービスや福祉の困りごと、心配ごと相談なども検討していきたいと考えています。

# 地域のステキな 支えあい活動

No.12 (鳥ヶ原清流利活用プロジェクト)

## ◆地域の福祉拠点「清流」と活用の検討



1995年、旧鳥ヶ原村に地域福祉の拠点として老人福祉センターが誕生し、「清流」の愛称で地域住民に親しまれました。その後、市公共施設最適化計画の方向性により、施設の今後について検討する必要が生じ、社協とまちづくり協議会による意見交換会を行いました。そこで、介護だけでなく地域福祉全般の拠点としての「清流」の活用について、その必要性が再認識されました。

2016年には、市主催の「鳥ヶ原地域の福祉を考える懇談会」が発足し、6回の懇談を経て、1階は社会福祉協議会が引き続きデイサービスセンターを運営することとなりました。2階の活用については、2017年度に鳥ヶ原地域生活環境改善会議「清流利活用プロジェクト」をたちあげ、地域住民10名と社協職員2名の12名が、11回の会議を重ね、地域住民に向けたアンケートも実施し、新たな活用方法を検討しました。

## ◆人が集まる拠点活動のスタート！

プロジェクトの検討を経て、生活環境改善会議で具現化に向けた協議を行い、拠点活動がスタートしました。ロビーでは、セルフサービスのワンコインカフェを開設し、まちづくり協議会の事務担当者が運営を担っています。また、プロジェクトメンバーの女性3名が中心となり、地域住民の集いの場として「サロン清流」を月2回運営しています。



カフェスペース

◆鳥ヶ原地域の地域想いびと◆  
担当地域福祉コーディネーター 猪岡 恵理美  
社協職員であり、さらには地域住民でもある猪岡です。平成29年度から、地域福祉コーディネーターとして鳥ヶ原担当になりました。地域福祉の拠点の存続に向けて、清流プロジェクト会議にも当初から参加させて頂いていました。意見や考え方は違いますが、地域全体で課題解決に取り組んでいる姿、全員が「清流」を残したいという同じ想いでした。これからも、地域全体で、新たな取り組みを皆さんと一緒に考えていければと考えています。



## 鳥ヶ原地域ってどんなところ？

伊賀市の西に位置し、滋賀県、京都府、奈良県の3県に隣接した山間地域です。昔ながらの地域の関係、向こう三軒両隣といったおたがいさまの関係があり、市内でもいち早く福祉協力員制度ができました。  
【人口2,194人/世帯数1,176世帯/高齢化率45.3%(H30.9末)】



鳥ヶ原福祉センター「清流」

## 鳥ヶ原福祉センター「清流」2階



コーヒー  
1杯100円  
(お菓子付き♡)

セルフサービスのワンコインカフェ(常設)

趣味活動や、会議など



ギャラリー清流  
(鳥ヶ原の風景等の写真・絵画の展示)



サロン清流  
(月2回)

研修や会議など

食事サービスや男の料理教室、食育講座など



## ◆拠点活用のこれからの課題

今後は、ギャラリー清流を使った発表の場としての個展や、ワンコインカフェコーナーを使ったミニコンサート、趣味の講座、サロン清流の毎週開催など、さまざまな催しの企画も検討しています。

拠点活用に向けての課題として、

- ★ワンコインカフェコーナーの、新たな取組や集客方法
- ★「清流」までの移動手段の確保
- ★サロン清流の担い手となるスタッフの確保
- ★鳥ヶ原地域だけでなく、誰もが利用できる拠点に
- ★土日祝日や、夜間の利用(管理体制の問題)

などが挙げられ、引き続き検討を重ねながら取り組んでいく予定です。

「清流」の利活用については、解決していかなければならない課題があります。地域住民誰もが集える場所となるよう、「鳥ヶ原地域生活環境改善会議」を中心に、課題解決や新たな取組に向けた検討も進めていきたいと思います。



鳥ヶ原清流利活用プロジェクトリーダー  
平田 久二さん

～地域のみなさまからの応援メッセージ～

がんばるハピ♡



★地域福祉コーディネーターへ…★

地域への貢献に、期待しています。元々張り下さしい。

★地域福祉コーディネーターへ…★

地域の課題を豊かな経験をもとに共に考えてくれている地域福祉コーディネーターさんの元気にいつもはげまされています。共に頑張らましよう。

★地域福祉コーディネーターへ…★

皆様の活躍が地域を華やかに！

★地域福祉コーディネーターへ…★

笑顔と元気で地域の皆さんが癒されています。

いつも

ありがとうございます！！

★地域福祉コーディネーターへ…★

高齢者や独居老人が多い当地区の課題について、適切な助言をいつも気軽にいただきありがとうございます。今後もよろしくお願ひします。

★地域福祉コーディネーターへ…★

フットワークも軽く、迅速な対応ありがとうございます！今後によろしく。

★地域福祉コーディネーターへ…★

いつも親切、21年間にわたり、新添って指導いただき、ありがとうございます。今後よろしくお願ひします。

★地域福祉コーディネーターへ…★

地域のコミュニティ活動で度々講師をお務めいただき、地区の行事に積極的にご参加いただき、大変お世話になりました。福祉事業の運営に力をつけて相談した時も、親身になって聞いていただき、また資料を使って丁寧なアドバイスをくださりました。これからも様々な形で新添、させていただきます。

おふるいんあしバッチ製作でも大変お世話になりました。



★地域福祉コーディネーターへ…★

いつもありがとうございます。地域連携の体制づくりを推進して、アトハイサートでの役割を担ってくださると思います。さらに活躍されるように！！

TO

★地域福祉コーディネーターへ…★

優しい笑顔と大至のレックがロードワークの山本君。きめ細やかな心遣いに感謝です。今後、元々アドバイスと、パワー注入を、宜しくお願ひします！！

★地域福祉コーディネーターへ…★

福祉で大変でと思、でもこれで良いという物差しも無いから、今後、宜しくお願ひします。

★地域福祉コーディネーターへ…★

困ったことがあると、即コーディネーターに相談します。いつも笑顔で相談にのっていたため、問題もクリアでき且かがります。これからも頼りにしています。

★地域福祉コーディネーターへ…★

種をまいてからなかなかの芽を出さなかつた花が  
コーディネーターの山本さんの熱意でやっと芽が出ました。  
どんな花が咲くのが楽しみです。  
これからもよろしくお願ひします。

★地域福祉コーディネーターへ…★

いつも地域のことを  
考えてくれているので  
安心して生活が出来ます。  
今後とも地域のために  
引き続きお祈り願ひ  
しますね〜

★地域福祉コーディネーターへ…★

地域の幸と豊かさを深め  
広げ、誰もが、僕も感じる  
地域福祉を  
待つてりるよー  
ガンバレ

★地域福祉コーディネーターへ…★

福祉のエキスパートなれ！  
これからもよろしくお祈り願ひします。

★地域福祉コーディネーターへ…★

地域課題の羅針盤  
として活躍して  
ください。

★地域福祉コーディネーターへ…★

いつも 私達地区のために  
ご尽力いただきありがとうございます。  
これからも一緒に頑張っていくこと  
と思っております。  
コーディネーターの方へ  
感謝！感謝！

★地域福祉コーディネーターへ…★

物かきの悪い人たちに  
ニーズのない地区に  
ネットワーク会議について  
熱心に誠意を持って  
説明していただきありがとうございます。  
今後ともよろしくお祈り願ひします。

★地域福祉コーディネーターへ…★

いつもありがとうございます。  
奥町には福祉や障がい者への対応がまだまだ不十分で、河  
今年、依頼地区でも地域福祉ネットワーク会議を2017年9月開催のため  
準備段階から取組むことになり、地や昼夜と関係の課題抽出  
情報収集のサポートをしていただきました。ありがとうございます。

件件ワンストップや生活圏の図を相談できたりして、  
大変助かっています。

難しい問題や辛いこと、悩んでほうきもたたく人がある中で、  
いつも明るく笑顔で地域の方に接してくれている貴方は本当に  
頼りに思っています。

いつもお電話には、お返事の手配も自分勝手な  
手配で、お返事に元気をもらっています。

いつもでも依頼は重厚で、という方が本音ですが、奥町には伊藤の  
いや世界の人の運が安心に暮らす環境実現に向けて頑張ってください  
です。

奥町で生活している人、お返事や連絡が、大変な世界でも  
感謝申し上げます。  
これからもご協力の程、宜しくお祈り申し上げます。

★地域福祉コーディネーターへ…★

地域で間接の専業には、お手伝  
いたたきありがとうございます。  
地域ケアネットワーク会議においても  
中心となって進めていただけた。  
今後も、地域課題解決に向けて  
一緒に取り組んでいただきたいと思います。  
お願ひします。



Handwriting practice lines consisting of 20 horizontal dotted lines on a white background.





令和元年8月発行

社会福祉法人 伊賀市社会福祉協議会

三重県伊賀市上野中町 2976-1

上野ふれあいプラザ 3階

TEL:0595-21-5866

FAX:0595-26-0002